



赤ちゃんの青あざ、赤あざのレーザー治療は 東部病院の皮膚科へぜひご紹介ください！

済生会横浜市東部病院の皮膚科では青あざと赤あざのレーザー治療が可能です。どちらも以下に記載の疾患は保険適応です。

※赤あざのレーザー治療は 2025 年 5 月より開始



青あざ

病名：太田母斑、異所性蒙古斑、
外傷性色素沈着症

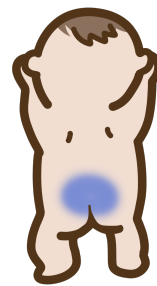


異所性蒙古斑は日焼けしていない
乳児期から治療するのがベスト！

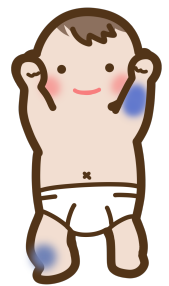


健診で濃い青あざをみつけたら、
自然消失するか残存するか見極め
のため、ご相談ください。

蒙古斑



異所性蒙古斑



臀部に存在するものを蒙古斑、それ以外の
部位に存在するものを異所性蒙古斑と言う。
臀部のものと比較して濃く、円形で辺縁が
はっきりしているものは成人になっても残存
しやすい。

赤あざ

病名：単純性血管腫、莓状血管腫、毛細血管拡張症



出生後 1 か月以内に専門医を受診し、予測される経過や治療法、
合併症の有無などについて知っておくことが大切です。

ご予約方法

※青あざ、赤あざどちらも **平日午前初診**

当院皮膚科の初診の診察には、**紹介状とご予約が必要**となります。

◎電話予約 045-576-3000 (代) (受付時間：9:00～16:00) へお電話
いただき、「皮膚科の初診予約」であることをお伝えください。

〔予約枠〕月曜 ①10:00 ②10:30 ③11:00

火～金曜 ①9:30 ②10:00 ③10:30 ④11:00

◎WEB 予約 <https://www.tobu.saiseikai.or.jp/reserve/>

※WEB でお申込みの場合は時間帯の指定が出来ません。



(WEB 予約ページ)



皮膚科のご紹介



診療体制

部長 渡辺 絵美子
医長 豊島 進



初診については、
紹介状（診療情報提供書）＋初診予約をお願いしております。

小児向け診療の特色

- ▶ アトピー性皮膚炎に対するスキンケアの指導、**生物学的製剤や JAK 阻害薬**を用いた全身療法
- ▶ 円形脱毛症（全頭型・汎発型）に対する局所免疫療法（SADBE、DPCP）
- ▶ 乳児血管腫に対するプロプラノロール内服療法（5泊6日小児科入院）

一般的な診療内容

- ▶ アトピー性皮膚炎や尋常性乾癬に対する生物学的製剤や JAK 阻害薬などを用いた全身療法
- ▶ 円形脱毛症に対するステロイドパルス、ステロイド局注、JAK 阻害薬、局所免疫療法など
- ▶ 皮膚腫瘍に対する局麻下日帰り手術
- ▶ 自己免疫性水疱症に対する集学的治療

などに積極的に取り組んでいます

外来のご案内

レーザー外来（木曜午後）

青あざは生後1か月くらいから治療可能。
赤あざ治療は2025年5月より開始。

※以下の疾患は保険適応↓

青あざ（太田母斑、異所性蒙古斑、外傷性色素沈着症）

赤あざ（単純性血管腫、莓状血管腫、毛細血管拡張症）

美容外来（木曜午後4時）

主に**しみ、肝斑**に対する治療。
（5% ハイドロキノン / 0.1% トレチノインクリームが好評です）